



# 2023年3月期第1四半期 決算説明会資料

**August 9, 2022**

## 免責事項

- ◆ 本資料は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（以下：当社）の業界動向、事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来展望についても言及しています。
- ◆ これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- ◆ 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合があります。
- ◆ 本資料における将来展望に関する表明は、2022年8月9日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

# INDEX

## — 01 · 2023年3月期 第1四半期実績

1. earnings result
2. activities-expenses
3. activities-by segments
4. activities-media traffic
5. activities-solution mrr/arpv
6. activities-by type of revenue
7. activities-by integration stage
8. activities-overall/investment
9. activities-overall/debt finance
10. activities-overall/equity ratio

## — 02 · 2023年3月期計画

1. forecast
2. forecast-media business
3. forecast-solution business
4. preview-overall

## — 03 · APPENDIX

1. income statement
2. balance sheet items
3. sales by segment
4. fixed expenses

## 売上「22.4%増」と堅調に推移、Q1減益は計画に沿った着地 営業外は計画内のシンジケート組成費用を計上

(百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	
	第1四半期	第1四半期	第1四半期	前期比
	(連結)	(連結)	(連結)	
売上高	823	1,127	1,380	+22.4%
営業利益	116	111	98	-11.6%
営業利益率	14.2%	9.9%	7.2%	-2.7ポイント
経常利益	106	82	25	-68.8%
親会社帰属四半期純利益	67	41	1	-96.8%
EBITDA	230	270	274	+1.3%
1株当たり利益 (円)	4.92	2.94	0.09	-2.85円

## 広告宣伝費やサービス拡大に向けた積極的な投資に加え、 事業拡大を見据えたバンクフォーメーションを確立

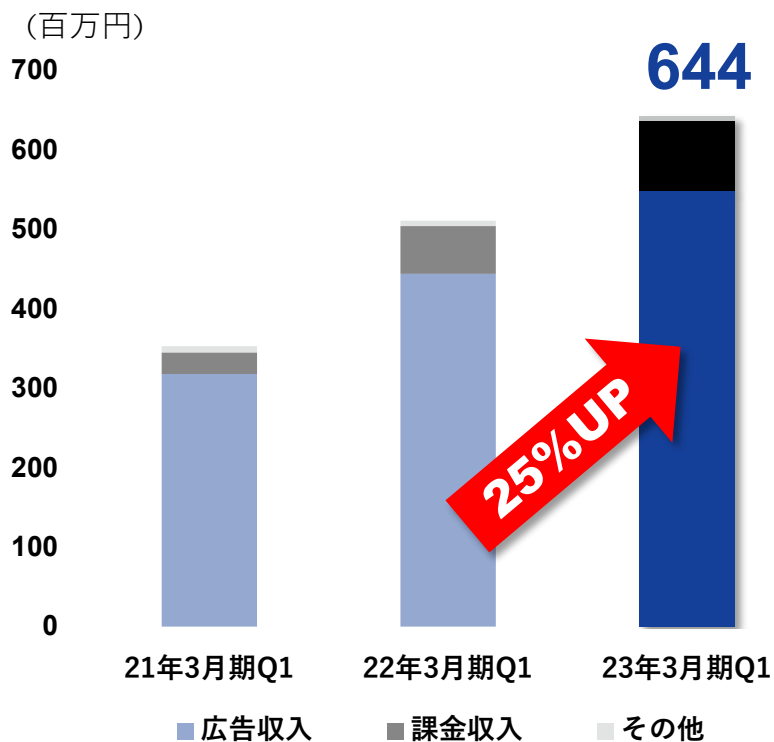
前年同期比で当第1四半期利益に影響した主な費用・子会社の影響（通期計画に織り込み済み・単位：百万円）

内容	計上区分	セグメント	前Q1	当Q1	増減	概要
シ・ローン組成費用	営業外費用	全社	—	76	76	ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）によるシ・ローン組成費用
<b>①当第1四半期固有の費用</b>			<b>—</b>	<b>76</b>	<b>76</b>	
人件費	販管費・原価	全社	206	259	52	前期Q1末から31名増。当Q1で16名採用
<b>②人的投資</b>			<b>206</b>	<b>259</b>	<b>52</b>	
広告宣伝費	販管費	メディア	87	126	39	広告活動を積極化
米国株関連費用等	原価	ソリューション	164	233	68	今後の導入拡大への先行投資
<b>③広告宣伝・米国株関連投資</b>			<b>251</b>	<b>359</b>	<b>107</b>	
ミンカブアセットパートナーズ		ソリューション	—	8	8	2021年9月設立
ミンカブWeb3ウォレット		ソリューション	—	10	10	2022年5月連結子会社化
<b>④新規子会社の営業損失</b>			<b>—</b>	<b>18</b>	<b>18</b>	
<b>①～④合計</b>			<b>457</b>	<b>712</b>	<b>253</b>	

## 両事業ともに安定成長を継続

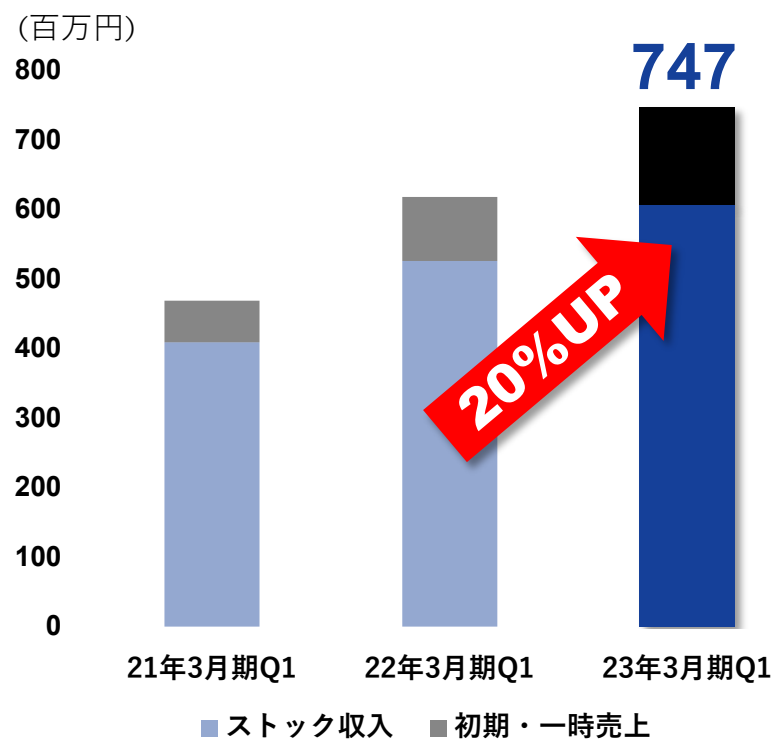
## MEDIA

トラフィック減少も“稼ぐ力”の強化により収益を拡大  
課金収入も堅調に拡大



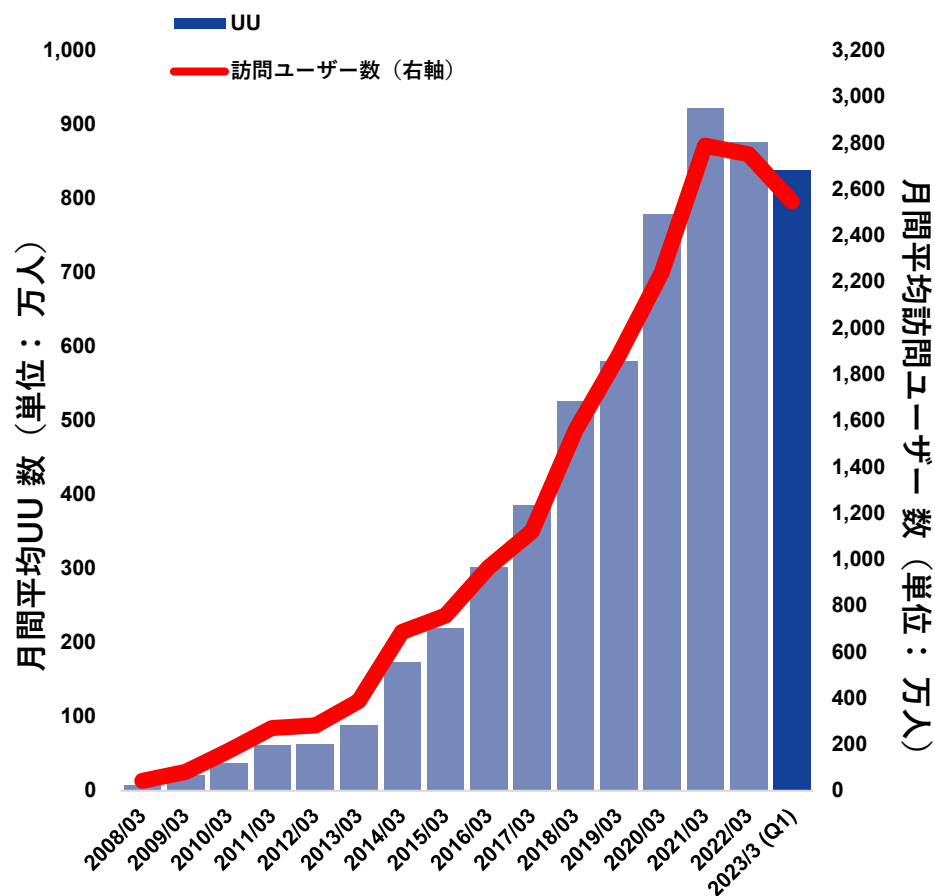
## SOLUTION

ストック収入の増加に加え、以降のストック収入増につながる初期導入も堅調  
新規参入のSIソリューションも好発進



## 市況悪化によるトラフィック減少は想定内

## 年度別長期推移

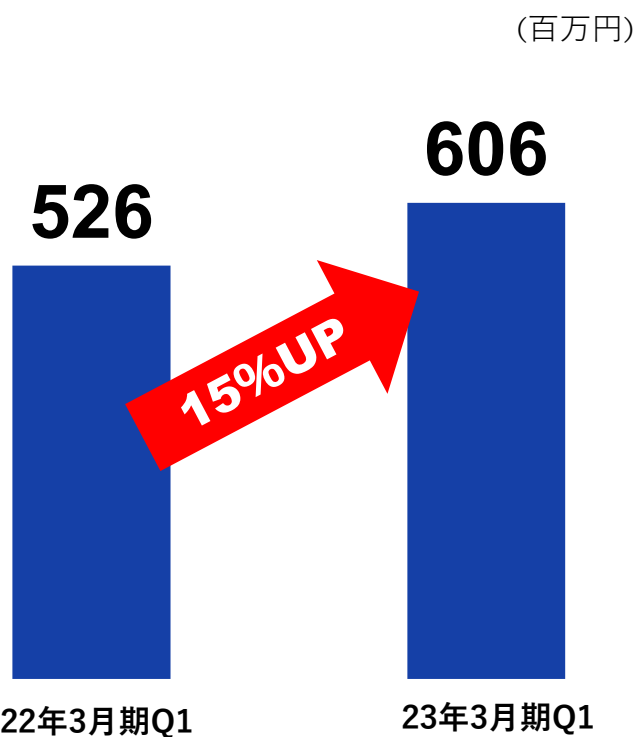


- 2022年4月～6月の月間平均UU数は、前期比130万人減の838万人。訪問ユーザー数は同452万人減の2,548万人
- UU数、訪問ユーザー数ともに前期Q4に引き続き市況悪化の煽りを受けて減少
- 外部要因によるトラフィックの軟調傾向は想定内。市況に影響を受けにくい収益構造の構築に注力

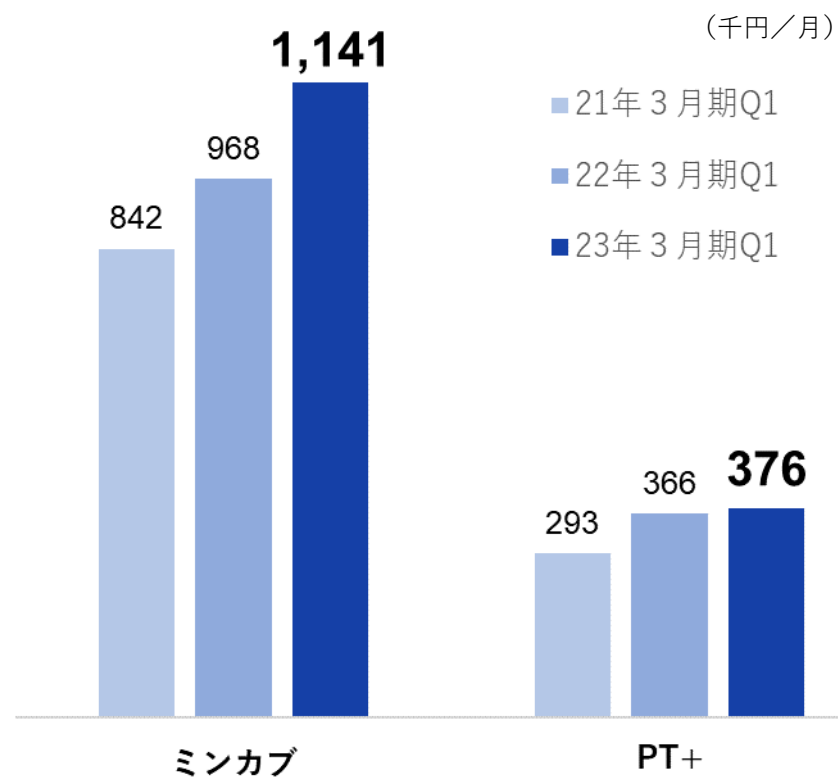
## ソリューション事業のMRR・ARPUは堅調に拡大

ソリューション・ストック収入  
第1四半期

前期獲得案件の積み上がりにより15%増収

ソリューション・ARPU  
第1四半期

ミンカブ・PT+ともに順調に拡大基調





## 再現性が高い収益構造※を堅持して拡大

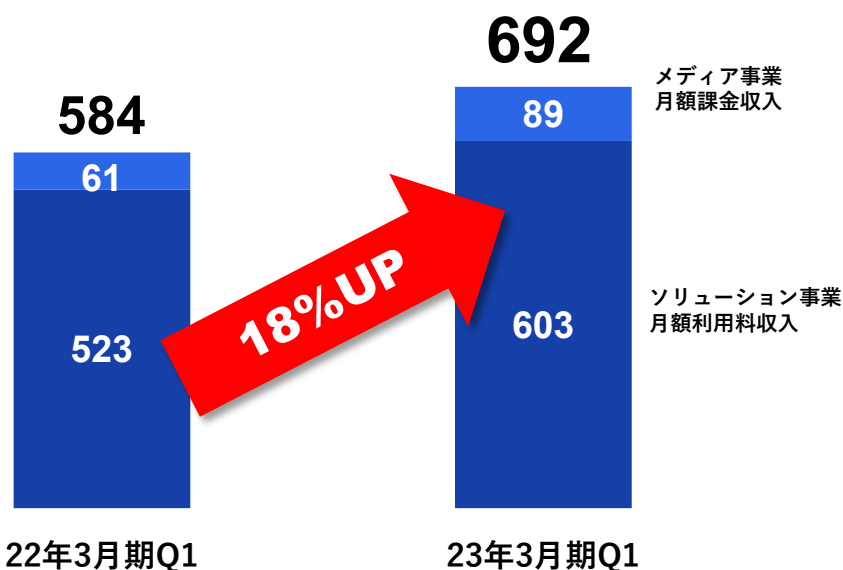
\*サブスクリプション収入+広告収入

サブスクリプション収入は、メディア事業の月額課金収入+ソリューション事業の月額利用料収入

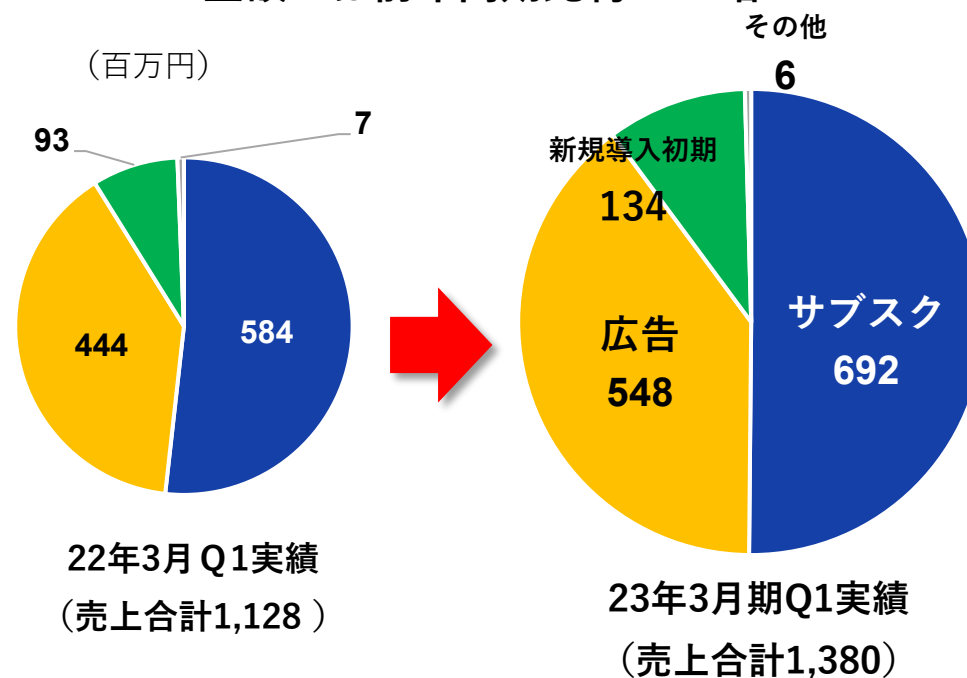
## サブスクリプション売上

サブスク売上は前年同期比約1億円増

(百万円)



## 売上区分別内訳

高再現性収益は全体の8割超  
金額では前年同期比約20%増

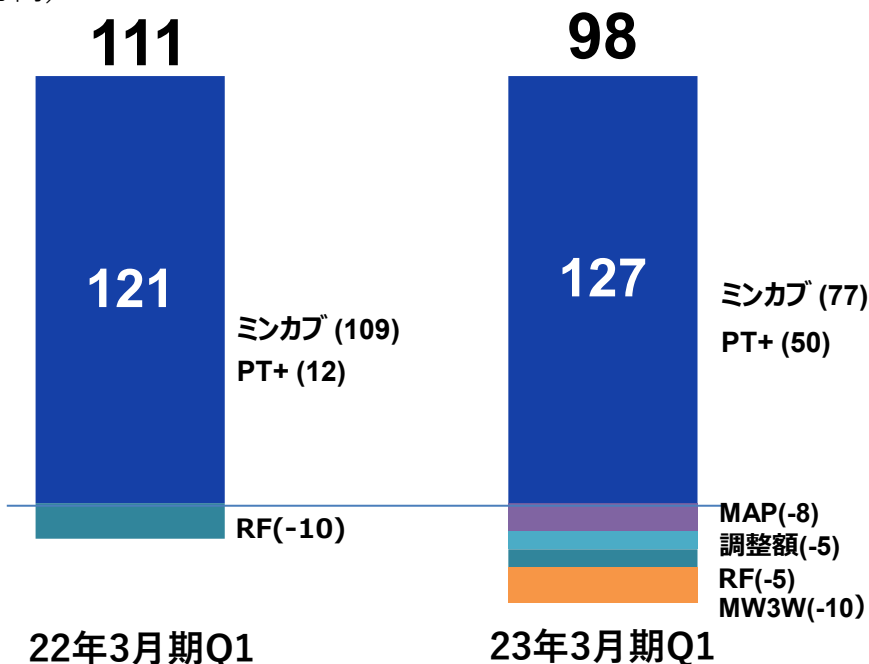
注1. 百万円未満四捨五入  
注2. セグメント間取引控除後売上高

9

## 新規連結対象会社も利益貢献フェーズへ

### 各社営業利益内訳

(百万円)



- 主にミンカブ単体での投資先行状況をProp Tech Plus(株) (PT+) で大きくカバー。両社の合計営業利益は、短期・中長期両睨みの成長投資を吸収し、前年同期水準微増
- ロボット投信(株) (RF) はマイナス寄与を継続も、グループシナジー追求により改善へ
- 新規連結対象の2社 ((株)ミンカブアセットパートナーズ (MAP)、(株)ミンカブWeb3ウォレット (MW3W)) は、MAPが金融商品仲介業登録次第営業開始、MW3WはQ2以降本格化へ

注. 各子会社はのれん、顧客資産等の償却控除後利益 (22年3月期Q1の連結調整は100万円未満のため省略)

略称) 当社: ミンカブ、Prop Tech plus(株): PT+、ロボット投信(株): RF、(株)ミンカブアセットパートナーズ: MAP、(株)ミンカブWeb3ウォレット: MW3W

## 下期偏重計画の下、第1四半期減益は計画内 継続成長に向けた積極投資を実施

- 第1四半期は売上高が最も小さい四半期である中、中期的な成長加速に向けた人的投資（Q1採用実績16名、通期60名計画）、開発等投資、広告宣伝への資本投下を積極的に実施
- 第2四半期も継続して、第1四半期末消化分も含め、積極採用や新サービス導入に伴う先行費用を想定。相対的に売上が小さいことに加え、連結子会社のスタートも鑑み、上期まで減益を見込む

23年3月期  
四半期別売上高・営業利益計画概要

	売上	営業利益
第1四半期	増収	減益
第2四半期	増収	減益
第3四半期	増収	増益
第4四半期	増収	増益
通期計画 (前期比)	75億円 (36.8%増収)	12.5億円 (42.9%増益)

### 下期偏重となる主な要因

#### ■ MEDIA

- ① 有料課金ユーザー数の継続増大
- ② アクセス数の継続成長による広告収入拡大
- ③ 単価の高い純広告収入の獲得時期

#### ■ SOLUTION

- ① ストック収入の継続成長
- ② 顧客の新規商材の導入時期
- ③ 当社のプロダクトサイクル

## シンジケートローンを組成し、バンクフォーメーションを強化 中長期的な拡大に向けた与信拡大・資金調達枠の確保を実現

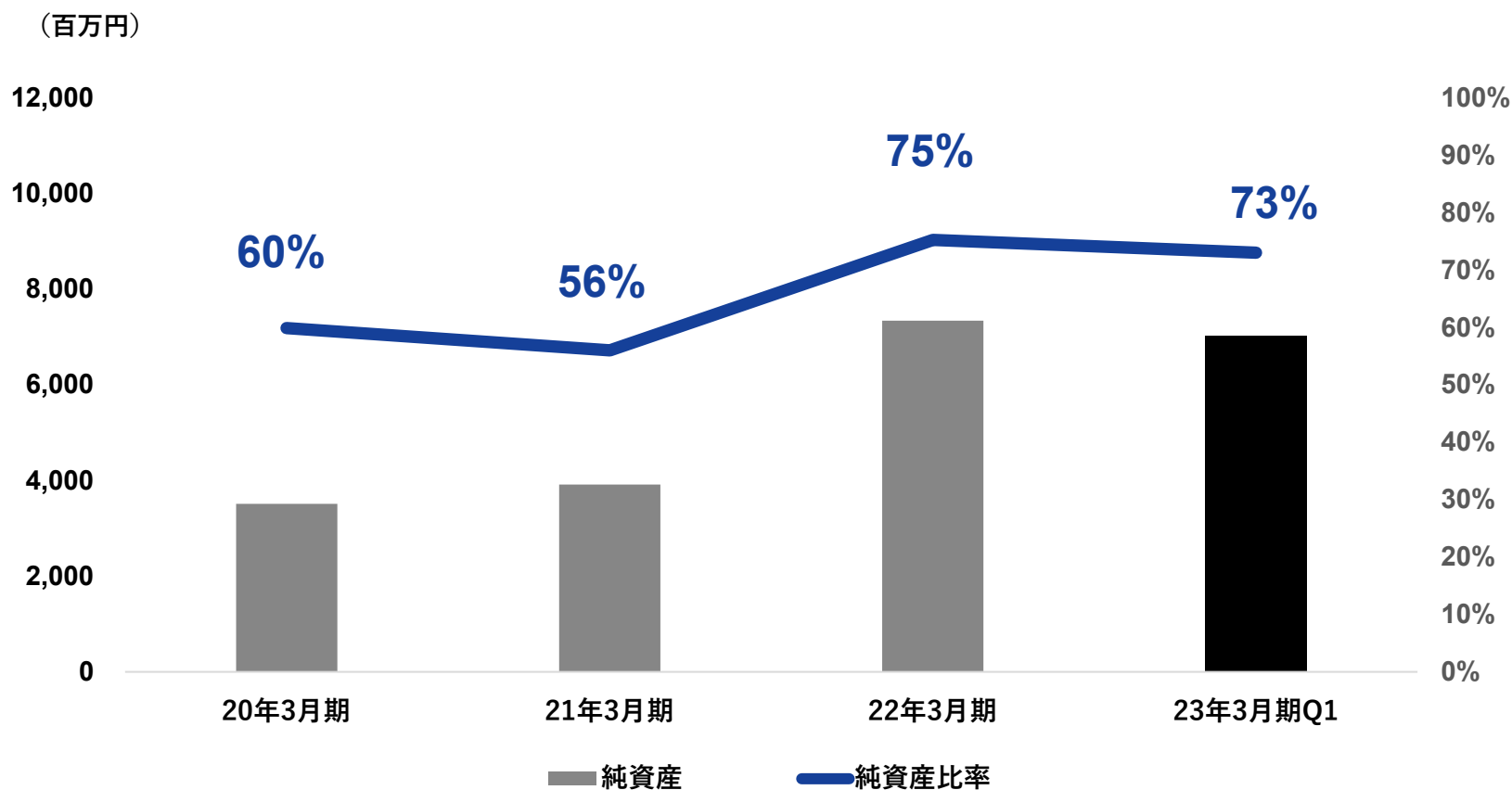
### ■インパクトを与えると思われるミカブの主なテーマ

テーマ	SDGs
メディア事業の推進による、人々の金融サービスへのアクセスの拡大、金融市場の発展、人々の健全な資産形成への貢献	 
ソリューション事業の推進による、金融機関等における事業活動の質向上・効率化、人々の金融サービスへのアクセスの拡大、金融市場の発展、人々の健全な資産形成への貢献	  
多様性のある雇用機会の創出	

- ▶ 三菱UFJ銀行をアレンジャー、三井住友銀行をコ・アレンジャーとするシンジケートローンにより、コミットメントライン24億円、借換目的のタームローン13.3億円、計37.3億円のデットファイナンスを実施
- ▶ 調達金利の効率化に加え、コミットメントライン枠を15億円→24億円に拡大し財務基盤を強化
- ▶ PIFを通じ、サステナビリティ経営に則したESG対応を推進

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス (PIF)」とは、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)※1 が策定したポジティブ・インパクト金融原則※2、及び実施ガイドに基づき、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。当社は、本契約の締結にあたり、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が実施した評価に基づき、株式会社日本格付研究所より、ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性に関する第三者評価を取得しております。

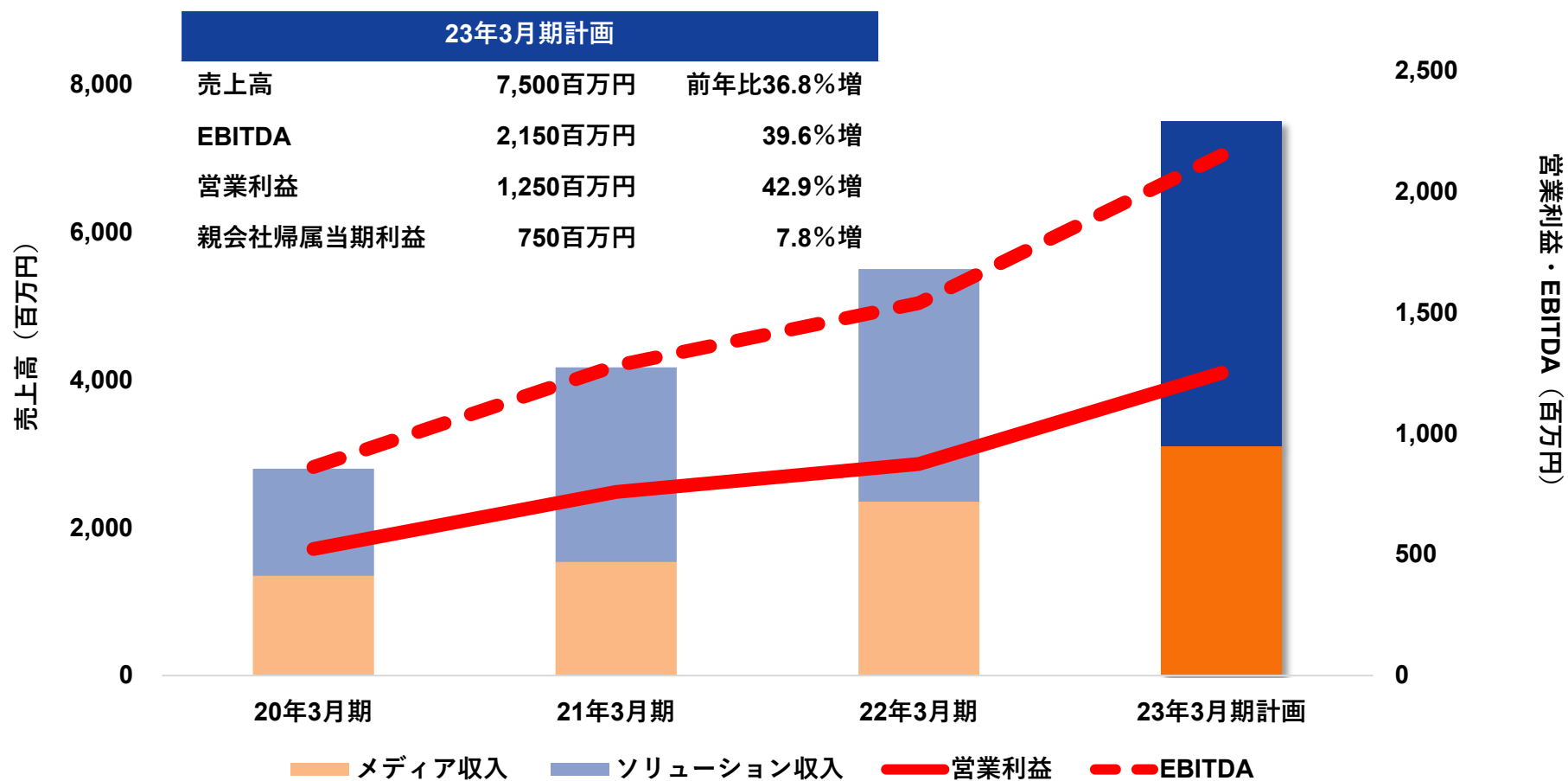
## 純資産比率は引き続き高水準を維持 PIF等を活用しながらレバレッジ経営による規模拡大を視野に



注. 純資産比率 = 純資産 (非支配株主持分控除後) ÷ 総資産

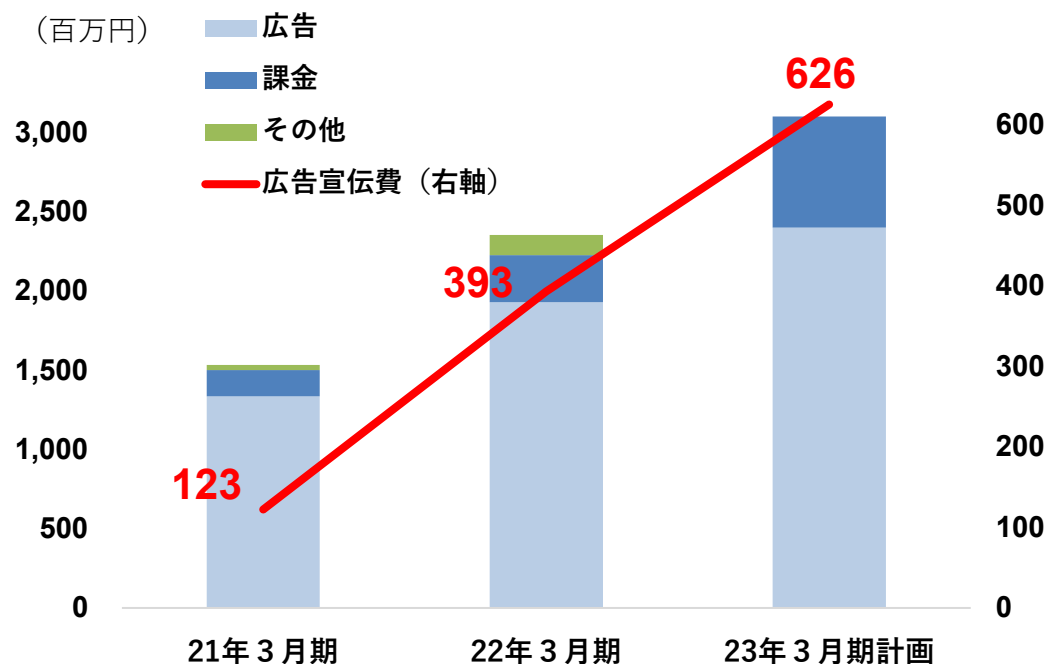
## 23年3月期売上高75億円・営業利益12.5億円を計画

親会社帰属当期純利益は前期税効果計上額からの反動を反映



## より再現性の高い収益基盤構築の施策を継続

### メディア売上



- サブスクリプションサービスでは、従前の自然増からマーケティングによる効率的な潜在的ユーザーへのアプローチへ
- MINKABU ASSET PLANNERのOEM提供開始へ
- 検索広告への露出強化による収益化策を継続。証券市況に左右されにくい収益構造を強化

# NIKKEI ID x MINKABU ASSET PLANNER 1,000万人の日経IDユーザーへOEM提供

**MINKABU**  
ASSET PLANNER

NIKKEI ID

Quick

ライフプランシート

アグリゲーター

フィルタリング

資産状況監視

OEM提供

日経ID  
ユーザ送客

NIKKEI  
ASSET  
PLANNER  
(仮称)

MINKABU  
ASSET  
PARTNERS

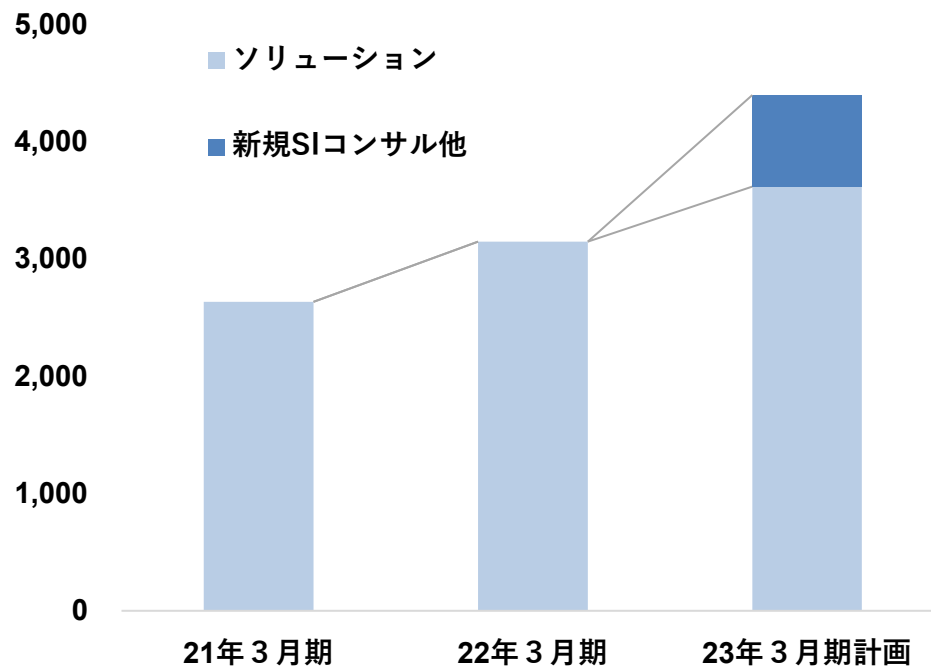
各金融機関



## 既存ソリューションに加え、新規領域が順調な立ち上がり

### ソリューション売上

(百万円)



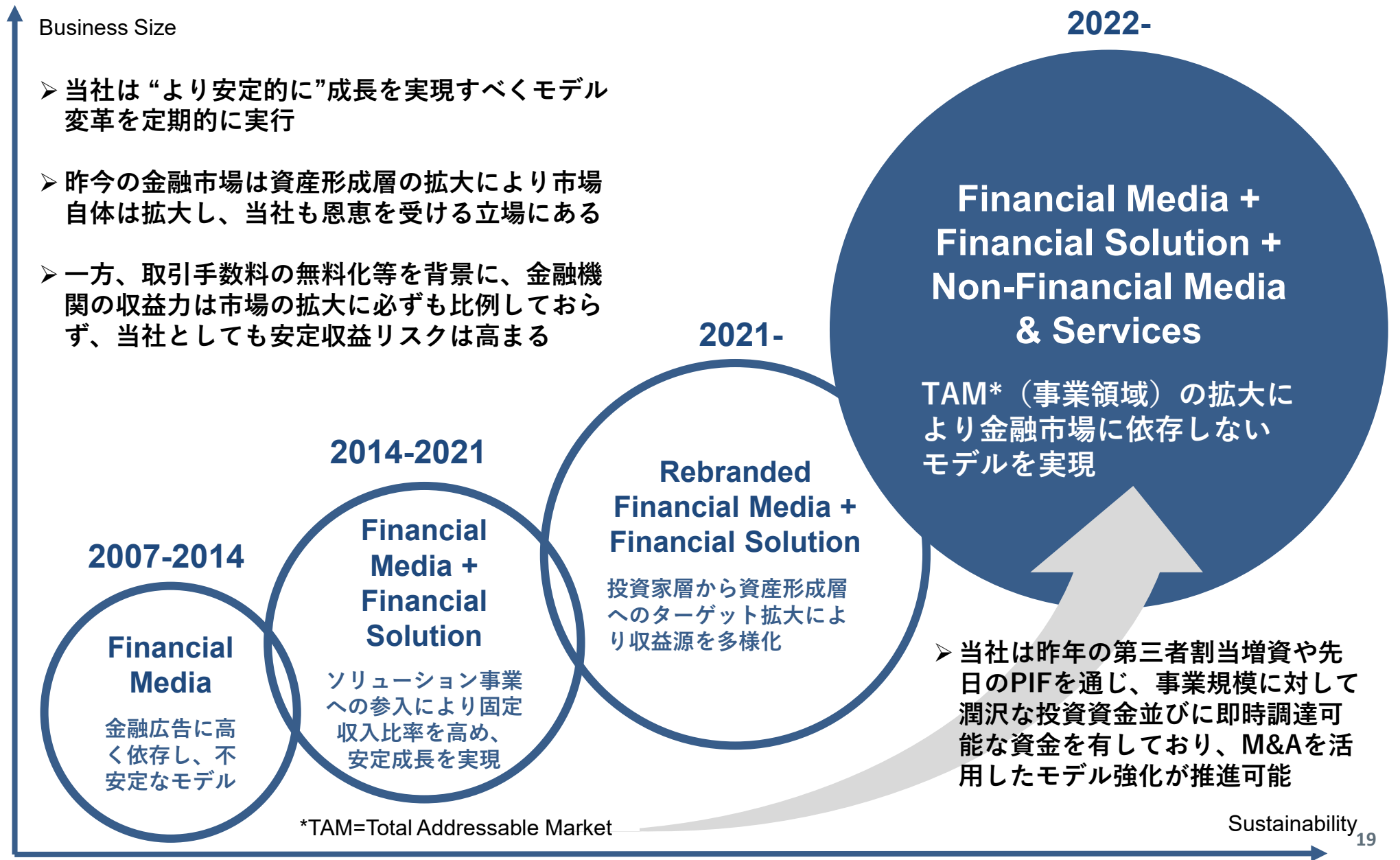
- 新規SIコンサルティングソリューション案件（金融機関DX支援）の獲得
- 既存情報系ソリューションにおける大型案件の獲得
- 子会社の立ち上がり
  - 金融商品仲介業（MAP）の登録手続完了と本格始動
  - NFT関連事業（MW3W）におけるプロダクトローンチ

## 証券会社向けBPOサービス開始へ 金融商品仲介業ではMINKABU ASSET PLANNERと連携

900万人の資産形成層と金融機関中心に400社超の顧客基盤を有する当社グループならではの金融サービス



※金融商品仲介業登録手続き中



## 03

APPENDIX  
income statement

(単位：百万円 / %)

	21年3月期	22年3月期		23年3月期 計画		22年3月期 Q1	23年3月期 Q1	
	(連結)	(連結)	前期比	(連結)	前期比	(連結)	(連結)	前期比
売上高	4,158	5,482	+31.8%	7,500	+36.8%	1,127	1,380	+22.4%
メディア	1,535	2,353	+53.3%	3,100	+31.7%	512	644	+25.7%
ソリューション	2,635	3,148	+19.5%	4,400	+39.7%	618	747	+20.8%
調整額 ※1	△ 11	△ 20	-	-	-	△ 3	△ 11	-
営業利益	759	874	+15.2%	1,250	+42.9%	111	98	△11.6%
メディア	530	747	+40.8%	1,100	+47.2%	161	181	+12.9%
ソリューション	738	786	+6.5%	950	+20.8%	107	112	+5.4%
調整額 ※2	△ 509	△ 658	-	△ 800	-	△ 156	△ 195	-
経常利益	734	828	+12.8%	1,120	+35.2%	82	25	△68.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	564	696	+23.3%	750	+7.8%	41	1	△96.8%
EBITDA ※3	1,280	1,539	+20.3%	2,150	+39.6%	270	274	+1.3%

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

※3 EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

※4 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※5 当社は2021年9月1日付で株式会社ミンカブアセットパートナーズを設立し、同社を連結子会社化しております。

※6 当社は2022年5月1日付で株式会社ミンカブWeb3ウォレットの株式を取得し、同社を連結子会社化しております。

※7 百万円未満切り捨て

## 03

APPENDIX  
balance sheet items

(単位：百万円 / %)

	21年3月末 (連結)	22年3月末 (連結)	22年6月末 (連結)	前期末比
流動資産	2,875	4,825	4,344	△10.0%
うち 現金及び預金	1,847	3,526	3,485	△1.2%
固定資産	4,114	4,932	5,277	+7.0%
<b>資産合計</b>	<b>6,989</b>	<b>9,757</b>	<b>9,622</b>	<b>△1.4%</b>
流動負債	1,251	942	777	△17.5%
固定負債	1,523	1,372	1,612	+17.5%
<b>負債合計</b>	<b>2,774</b>	<b>2,314</b>	<b>2,389</b>	<b>+3.3%</b>
資本金	1,762	3,514	3,514	+0.0%
資本剰余金	3,565	4,533	4,175	△7.9%
利益剰余金	△ 1,441	△ 745	△ 743	-
その他	29	39	82	+108.6%
非支配株主持分	298	100	203	+101.2%
<b>純資産合計</b>	<b>4,215</b>	<b>7,443</b>	<b>7,232</b>	<b>△2.8%</b>

※1 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※2 当社は2021年9月1日付で株式会社ミンカブアセットパートナーズを設立し、同社を連結子会社化しております。

※3 当社は2022年5月1日付で株式会社ミンカブWeb3ウォレットの株式を取得し、同社を連結子会社化しております。

※4 百万円未満切り捨て

# 03 APPENDIX sales by segment

(単位：百万円 / %)

	21年3月期	22年3月期		23年3月期 計画		22年3月期 Q1	23年3月期 Q1	
	(連結)	(連結)	前期比	(連結)	前期比	(連結)	(連結)	前期比
<b>メディア事業</b>	<b>1,535</b>	<b>2,353</b>	<b>+53.3%</b>	<b>3,100</b>	<b>+31.7%</b>	<b>512</b>	<b>644</b>	<b>+25.7%</b>
広告収入	1,335	1,929	+44.5%	2,400	+24.4%	444	548	+23.4%
課金収入 ※5	166	392	+136.1%	700	+78.3%	60	89	+46.6%
その他	33	32	△3.2%	—	—	7	6	△12.1%
<b>ソリューション事業</b>	<b>2,635</b>	<b>3,148</b>	<b>+19.5%</b>	<b>4,400</b>	<b>+39.7%</b>	<b>618</b>	<b>747</b>	<b>+20.8%</b>
ストック収入	1,859	2,195	+18.0%	3,100	+41.2%	526	606	+15.2%
初期・一時売上	775	953	+22.9%	1,300	+36.4%	92	141	+52.8%
調整額 ※1	△11	△20	—	—	—	△3	△11	—
<b>合計</b>	<b>4,158</b>	<b>5,482</b>	<b>+31.8%</b>	<b>7,500</b>	<b>+36.8%</b>	<b>1,127</b>	<b>1,380</b>	<b>+22.4%</b>

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※3 当社は2021年9月1日付で株式会社ミンカブアセットパートナーズを設立し、同社を連結子会社化しております。

※4 当社は2022年5月1日付で株式会社ミンカブWeb3ウォレットの株式を取得し、同社を連結子会社化しております。

※5 課金収入は、サブスクリプション型月額利用料に加え、法人向けOEM提供による初期導入及び月額利用料を含めて表示しております。

※6 百万円未満切り捨て

# 03 APPENDIX fixed expenses

(単位：百万円)

	21年3月期	22年3月期		23年3月期 計画		22年3月期 Q1	23年3月期 Q1	
	(連結)	(連結)	増減	(連結)	増減	(連結)	(連結)	増減
<b>単体</b>	<b>1,236</b>	<b>1,573</b>	<b>336</b>	<b>2,030</b>	<b>457</b>	<b>360</b>	<b>432</b>	<b>71</b>
人件費	666	837	171	1,180	342	190	247	56
オフィス・インフラ・租税公課等	177	205	27	260	54	53	68	14
減価償却費（原価+販管費）	351	489	137	549	60	106	106	0
減価償却費（M&A関連償却費）	40	40	-	40	-	10	10	-
<b>連結子会社</b>	<b>954</b>	<b>1,041</b>	<b>86</b>	<b>1,557</b>	<b>516</b>	<b>271</b>	<b>319</b>	<b>48</b>
減価償却費	32	31	0	206	175	15	29	13
減価償却費（M&A関連償却費）	96	103	6	103	-	25	28	2
その他固定費	825	905	80	1,247	341	229	261	31
<b>連結合計</b>	<b>2,190</b>	<b>2,614</b>	<b>423</b>	<b>3,588</b>	<b>973</b>	<b>631</b>	<b>751</b>	<b>119</b>

※1 人件費は、給与（法定福利費含む）、雑給、退職給付費用、福利厚生費、採用手数料、旅費交通費（通勤手当含む）の合計

※2 減価償却費（M&A関連償却費）は、のれん、顧客関連資産、技術資産の償却合計

※3 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。ロボット投信の費用は2021年3月期第2四半期（7～9月）から連結子会社へ含めております。

※4 当社は2021年9月1日付で株式会社ミンカブアセットパートナーズを設立し、同社を連結子会社化しております。

※5 当社は2022年5月1日付で株式会社ミンカブWeb3ウォレットの株式を取得し、同社を連結子会社化しております。

※6 百万円未満切り捨て



## MINKABU THE INFONOID

本資料に記載されている情報のうち、歴史的事実以外の情報は、将来の見通しに関する情報を含んでいます。将来の見通しに関する情報は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、評価等を基礎として記載されており、リスクや不確実性が含まれています。当社は将来の見通しに関する記述の中で使用されている定期予測、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになるということは保証いたしかねます。本資料に記載されている情報は、本資料に記載の日付に作成され、その時点における当社の見解を反映するものであり、このため、その時点での状況に照らして検討されるべきものであることにご注意ください。当社は、当該情報の作成日以降に発生した事を反映するために、本資料に記載された情報を逐次更新及び報告する義務を負いません。